（十四日夕刊）
磐城新聞
休刊 第三日曜
定價 壹ケ月五十錢、壹枚二錢、郵稅十錢
廣告料 第一 雜報欄行五十錢（協所指定二十錢增）
發行兼編輯印刷人 蓮沼龍輔
發行所 福島縣平町拾六 磐城新聞社 電話五六四番

鑛山協會講演要旨（下）

好間炭礦 下野十郎

（二）

採炭法に就て　採炭法は區劃後退長壁式を採用せり拂面の方向は石炭くりとの方向を考慮し多少變化する事あれ共大体に於て炭層傾斜に平行し拂面の延長は四〇乃至五〇間とす

截炭機はサリバン會社CHE8型ロングウオールコールカッター三臺を使用し底透して原則とし天磐壓に依り崩落せる炭塊を「スコップ」を以て拂面に捲げられたる炭車に積載す、炭塊亦は炭壁を破碎する爲め補助機として足尾二百型鑿岩機改造コールピック二二臺を使用せり

拂面に於ける照明方法は能率增進及び災害防止の目的を以て五〇乃至一〇〇燭光電燈を適所に接續點灯せり拂跡天磐支持の爲め諸枠、三脚諸枠打柱を主とし行ひ必要に應じ木固積、笹固積、岩固積を施すものとす拂面は規則的支柱を行ひ其の進行に伴ひ後方拂跡より逐次坑木を回收すれ共一部天磐の沈下情態を察知するため捨枠と稱する打柱を所々に殘留す拂跡は原則としては充塡すべきも適當なる充塡材料なきを以て目下は無充塡にて進行せり、截炭機の成績は透しの深さ四尺五寸にてカッター夫二名にて一方平均透截一〇〇尺（最長二七〇尺最短一八〇尺）にして運轉時間約四時間半一分間に約八寸を透截す

（三）

運搬に就て　機械採炭に於て良好なる成績を收むるには一つに運搬設備の完備にあり機械の偉力如何に大なるも運搬能力之に伴はざれば機械は誠に無用の長物たらん故機械採炭を採用せんと欲せば之が運搬能力の完備に手を盡すべきものと信ず歐米諸國の趨勢を見るも機械採炭の異狀なる進歩に伴ひ運搬能力は漸次增大され米國に於ては高さ低く自重輕き鐵製炭車にして其の容量普通二、五噸に達する炭車を採用するに至れり

炭車の容量增大するに從ひ坑道の加脊は其の幅員を增し且つ主要運搬坑道は可及的曲線部を減少し軌條及び軌間は舊來の十八封度軌條より漸次鐵道標準に遞り增大され從つて以て炭車脫線其他の運搬故障を防止すると共に坑道の幅員の增大は通氣を良好ならしめ其の災害防止に良好なる效果を示すに至れり

好間炭礦に於ては幸にして新坑[illegible]之の點に留意し炭車容量〇、八噸（容積二二立方尺）鐵重一〇〇貫軌間[illegible]二尺七寸の鐵製炭車を採用し軌條は本線には三十封度片坑道には十八封度を以てし軌間は三十吋、せり枕木は全部[illegible]材を使用し軌條布設に細心の注意を拂ひて之を行ひしむ、此、運搬設備に對する機械は好間炭礦に於ける機械採炭の精華を發揮せしめ重要原因たる事を斷言して憚からざる所なり

扨て拂面切羽運搬に就ては金片坑道より拂面に平行し炭壁より最大三尺の距隔を以て軌條を布設し二〇乃至二五馬力採炭切羽用移動式電氣捲揚機に依り一回に一〇乃至一五車の空車を拂面に捲揚げ直に之に積込むものとす積込終れば實車は再び捲機に依り捲下げられ金片坑道に手押を不要とし直主要まき立迄至るものとす

軌條の移轉は拂面の移動十二尺毎に逐次行ふものにして其の移轉時期は甲乙交代時期とす

採炭切羽に於ける就業は共同作業を原則とし一組に一人の指導夫を置く從つて女子後山を使役せず拂面に於ける後山先山受持は大体一人に付拂面十尺乃至十二尺配函一函ゞ定め後先山の區別なく各自積載函數は同一とす一人一方の積載函數は炭層の情態に依り變化あれ共平均十函を普通とす、故に拂面一切羽に於て先山後山合計二十名にて一方に二四二噸後山一人當七一噸を出炭しう

（四）

機械採炭截炭機使用に依る利點

イ、技術的及び經濟的立場より見る時は

（一）採炭能率の增進に依る勞力の節約

（二）集中採炭による切羽數の減少は保存運搬坑道延長を減じ運搬效率を高上す

（三）先山と云ふ特種技術を要する鑛夫を要せず身体強健なるものは何人にても同一程度の出炭をなし得る鑛夫募集容易なり

（四）夾雜物多く手掘採炭により不採算なる個所も有利、採炭稼行する事を得う

（五）採炭費を低減し得る事

（六）爆藥を使用せざる事

（七）出炭量の均衡及び調節自由なり

ロ、坑內災害豫防の點より見る時は

（一）拂面の進行迅速なるを以て天磐崩落による災害を輕減す

（二）主要運搬金片坑道延長を短縮せしむるため坑道支柱を堅固ならしめ天磐亦は側磐の崩落を豫防し得但し支柱材は切羽の進行と共に完全に回收さるゝ故堅固なる支柱を施すも支柱費膨脹せず

（三）採炭切羽數の減少は管督を容易ならしめ共同採炭による指導夫は災害防止に對し責任を負ふ

（四）爆藥を使用せざる爲め發爆による災害を輸減し且岩磐の局部的ゆるみを惹起する事なし

（五）炭塵の發生量を輕減し各片坑道の副員比較的大且短きため通風を良好ならしむ

之を要するに機械採炭法は技術的經濟的並に災害豫防の見地より手掘さい炭法に勝る事明かなれ共截炭機の種類運搬方法の選擇に關しては其の坑內炭層情態を考慮し適切なる種類並に方法をさい用する事肝要なり

明日の吉凶

舊曆 二月二十四日
新曆 三月十五日

▲一白　虛榮は前略に横はる邪幕除けて一途に進め▲二黑　波風なき樣に見へても油斷のならぬ日なり▲三碧　隙を見すれば誘惑に乘せられ易し注意せよ▲四綠　着實なれば午前より午後と次第次第發展す▲五黃　思意の如くならず從つて散財も伴ひ易し▲六白　思はぬ所に手落の生ずることあり進むは凶▲七赤　其から其と空想に走りて家益に遠ざかる日▲八白　發展を望むより平和を願ふべし失物注意▲九紫　自ら率先してはげむときは圓滿の裏に發展す

講談

闇に閃く男達

(39)

髙田 涙川作
尾崎 雪磨畵

熊五郎待てッ

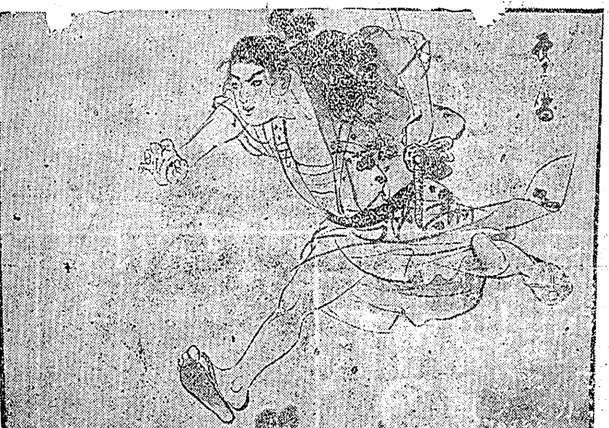
兩者であるかと一同が見ればそれは善助であつた、

「ヤア待つてくれ、善助が乘りこんで來たのだ少し己にも考へがあるから、暫くまつてくれッ」

武藏屋の二階の方ではこのワイ〳〵といふ騷ぎを耳にし、ソレ善兵衞の身内が仕返しだッと熊五郎を始め銚子の傳吉、煙の五郎吉、十の字金藏、港の千吉等を重なる子分に約五十人ばかりの若いやつは獲物々々を手にして身構へてゐる。

「サア皆のやつ、手めえらの腕の立つはもつともであるが少し己に考へがあるから、とも角この向ふの北國屋まで引きとりその上のことにしてくれ」

勢ひ立つ子分の者をなだめ一と先づ北國屋へ引きとり相談をしたが子分の者はどうしてもきかず、せひとも今夜の中に熊五郎の野郎をやつゝけてしまはねば承知ができぬといふを無理ににさへつけ、幸ひ來月は香取神社の大祭ゆえ、これに乘込み勝負を決せば親分の言葉も立ち我々の望みも達する事が出來ると漸く相談をまとめ、いたごへ歸るは歸つたが若いやつらは來月まで待たれない殘念でしかたないため委細を中原先生に語つた



「左樣か、ソレは殘念かるはもつともなれど、ソウ急ぐ事はあるまい、香取神社の祭禮にやるのは華々しく切れば榮ねがしお前方の名も一層上るわけ高が佐原あたりの俠客何程の事があらうか、いよ〳〵來月になれば拙者が助勢し、たやすく仕返しをしてやる必らずせくでない」この話を聞いた渡邊重太郎である

「ヨシ世話になつた恩返しの一端ともならう、善兵衞おやぢに恥辱を與へた佐原の熊五郎とやらを己が切つてしまはう、どうせ渡邊の家名をつがぬ拙者、いづれどこかへ參らねばならぬ身だ、行きがけの駄賃に熊五郎の首級をとつてやる

大膽な重太郎は夜に入るを待ち貞宗の一刀を腰に海岸へ出てみると、顔なじみの太市といふ漁師がをつた

「オイ太市、己を江戸崎まで渡してくれないか」

「オ、重太郎樣ですか、今から江戸崎へなんの御用事でおいでになるんです」

「ナーニ善兵衞のおぢさんが今日江戸崎の北國屋へ忘れものをしたのでそれをとりに行くのだ」

「へえさうですか、ちや參りませう」

太市の船で重太郎は間もなく江戸崎へ着いた

「コレ太市、こゝに二分あるこれは船賃だ」

「重太郎、樣こんなに澤山もらつては……」

「イヤ又厄介になるから預けておこう」

太市に別れた重太郎は聞いておいた武藏屋の表へ來り樣子を窺ふと熊五郎らはをりそうに見ゑぬ聞いて見ると今し方出立したといふ事である、重太郎は負宗の鯉口をくつろげ佐原へ通ずる一本道を月夜幸ひ一目散にかける、半刻ばかり走りつゝけた時、向ふにあたり二三名の人影が見ゑるたしかに熊五郎の一行と思はれた

「オーイッ……オーイッ」

重太郎は聲を張り上げて呼ぶ、熊五郎は五郎吉に金藏といふ兄い分の子分を連れてゐる

「オイ五郎吉、どうやらうしろから己をよんでゐるやうだ、善兵衞身内か知れねねぞ二人ともぬかるな」

「オーイッ、佐原の熊五郎ッ待てッ」漸く近づいてきた重太郎の聲である

◎徒弟入用
徒弟契約ニ付テハ年明キニ際シ有利ニ御相談申上候
金牌一等賞受領（数回）
磐城國平町
草野染工場
電話三四八番

季節向御料理大勉强
愈々公園の節
廉賣
親切｝第一
叮寧
松ケ岡公園地ノ端
割烹 ときわ
電話二二六番

良品廉賣に勝る商略なし
磐城平町五丁目
磐城セメント株式會社特約代理店
和洋銅鐵金物問屋 ㊄ 釜屋商店
諸橋久太郎
電話九番 一三九番
振替貯口金座東京一〇九五六番
確實敏捷は㊄の生命なり

鐵筋コンクリート
鐵骨組立
和洋建築
文化式建築
設計監督
土木、建築、請負業
合資會社
丸三森川組
社長 大森鎮平
東京日本橋南茅場町二〇
電話茅場町66四五二番

內科
小兒科
皮膚科
花柳科
平町舊城跡（城山）
青沼醫院
醫學士 青沼淡夫
電話四〇三番

食用鳩新入荷
優良食用鳩として定評ある
北米產……カルノー種
ホワイト、キング種
北米テキサス州から直輸入本日入荷致しました。愛好者各位に御飼育をお薦め致します。其の他内外の珍名鳥が取揃へてあります。
平町田町本通り
ベニヤ小鳥店

健康
活躍
勝利
勝利、その輝かしき名は、活躍する人にのみ許されます。
活躍、その勇ましき名は健康なる人にのみ許されます。
◇あの赤の罐◇
ホシ胃腸藥
健康を得るには先づ胃腸を健全にしなければなりません。
胃腸を健全にするために、ホシ胃腸藥をお用ひなさい。
東京大崎
星製藥株式會社

眞症の天然痘患者
遂に九名決定
縣衛生課總動員の活動
平町民極度に怖ゆ

平窪村字幕の內農業太田徳男三女トミ（一ツ）は去る八日來病氣臥床中であつたが平町若松醫師並に有馬醫師の診察の結果天然痘の疑ある處から平細菌檢査所長弓田技師の診斷を求めた結果昨十三日正午眞性天然痘と確定したので平警察署は極度に狼狽し平窪村**役場と共力全村に**亘つて一大消毒法を執行したが今日まで判明せる患者は徳男妹ミチ（一七）徳男長女キミ（一〇）を始め隣家の鈴木惣吉、鈴木可等の妻キヨ（三六）己之松三女矢吹スヱ（一八）の六名にして更らに午後五時に至つて同村下平窪字寺内折内長爾（三九）長男長榮（一二）の兩名、天然痘と確定するに相前後して**突如平町五町目料**理店馬目政治（三六）も天然痘と確定今後增々續出するものと觀られてゐるが縣衛生課から渡邊課長が今十四日來平傳染系統細密な調査を爲すと共に全部に亘つて大豫防法を執行する事になつた

野菜賣りの男から
平町にも浸入
五丁目大工町に
疑はしき患者出づ

平町五丁目馬目政治（三六）が昨十三日夜眞性天然痘と判明し町民は何れも戰々恟々としてゐるが今十四日に至り平町南町、白銀町、大工町、鷹匠町等に天然痘發生の疑あり弓田防疫官は數名の警察醫と共に八方に活動を續けてゐるが何れも今夕までには眞疑確定する筈であるが此の傳染系統は平窪村の罹病者鈴木惣吉が十三日早朝平町に野菜を賣りに來た事實があるので平署では調査の手を進め平窪村より平町に入る野菜屋を嚴禁した

傳染系統は
死んだ丑藏
有馬醫師の談

別項天然痘發生の傳染系統の調査に就き平署で極力此れを急いでゐるが最初に發生し而も一家三人の罹病者を出した平窪村幕之內鈴木徳男の實父丑藏（五五）が去月廿四日紫斑病と稱する病氣で死亡した事實あり罹病者全部は同月廿八日の葬儀に參列した者で恐らくは之れが全部に傳染したものと觀られてゐるが當時丑藏の治療を爲した平町有馬醫者は語る

「丑藏は二十四日に死亡したのですが當時全身に無數の紫斑點があり私は紫斑病と診斷したので今から考へると或は丑藏の死因は天然痘だつたかも知れません」云々と語つてゐた

磐中も磐女も
入學者減少
新學期で多忙

縣立磐城中學校及縣立磐城高等女校本年入學申込者は[illegible]人員二百五十名に對し申込者五百四十七名で昨年に比し三十六名げんじ磐女校は百二名の收容者に對し四百九十四名で昨年に比し三十名げんじたが右の如く申込者數が何れも二倍以上に達したので之れがさい用方法其他に就き十二日午後一時より唐土磐中校長及び木村磐女校長其他職員等磐女校長室に會同し種々打合せを重ねる處があつた

論壇
無産黨と大學

◎日本の無産黨運動が如何に多く官評教授の結果に負うて居るかはその選出議員の選擧區に徵して之を知ることが出來る。所謂無産議員として、一部の頭痛を惱まして居る八名の代表者は悉く大學所在地の産物である。東京、大阪、京都、福岡此の四大府縣に於てのみ無産派の勝利を見るに至つたことは、是等の府縣が大學の所在地であるの事實を離れて、理會することの出來る主題でない。此大學所在地と無産派との關係は、何事を語るであらう乎。若しくは何事をも語らないであらう乎。

◎若し世の中に尤もらしき迷信であるとすれば其迷信の最大は所謂學者の理論がその儘實現されるといふの迷信である。學者の詰論は要するに假り縫の洋服の如きものだ、如何に寸尺の割出しが巧であつても其儘で用を爲すものでない事はいふまでもない。若し假り縫ひの假り縫ひたる事實を承認して之を主張するのであつたならば而してその主張を信ずるのであつたならばその信仰は固より迷信でない。實際家の經驗を無視した抽象的理論が、その儘現されるものであることを基點として、その實現されぬ場合を一掃的に否定するであつたならば、天下の最も危險な思想は實にこの思想だ。

◎僅かに日本の大學所在地だけが無産派議員を選出するに至つたことは少くも現前日本の二大弱點を直接に暴露すると謂ふべきである。その弱點の第一は抽象的理論に對する學者の迷信であるその第二は學者の議論に對する一般人民の迷信である。若し此の迷信の勢力がなかつたならば官吏的學者が政府破壞の運動に飛び出して、それに先棒を擔ぐといふ狂態も有り得べきでなく、その狂態に隨喜して無經驗の青二才を選擧するといふの脫線的事實も有り得べきでなかつた。一切の變化は要するに信仰の産物である。大なり小なり信仰の變化を經由せずに人間は何等の變化を豫想することが出來ないのだ。

◎國民一般の大學に對する迷信の勢力は此の如く選擧の結果に現はれて居るに拘らずその大學の赤化教授を在るが儘に放任して益々その迷信の勢力を増長させるといふ事は、果して責任ある政治家の態度といふべきであらう乎。特有の愛國心は日本民族の精華である若し責任ある政治家にして敢て今日の無責任を持續するであつたならば、此の特有の愛國心の激する處如何なる變化を導引するに至るかは日本民族の歷史に鑑みて何人も今日に豫想することが出來ないのだ、赤化といふ惡化といふ。要するに責任者の無責任の結果である少數の惡人の妄動を看過するといふ責任者の無責任は一切の禍根を成してゐるのだ。

（若宮生）

自動車[illegible]
運轉手無事

石城郡江名町添田條吉（三四）は十三日午前七時頃貨物自動車を運轉して安積郡永盛村字筆の山地內道路に差蒐つた際泥濘のため運轉を誤り傍らなる六尺餘の用水堀に轉落し動きが取れなくなつてゐたのを村民が發見し正午頃までに打揚自動車は大破したが幸ひ怪我はなかつた

お歷々を乘せて
軌道眞ッ逆樣
きのう小名濱町外で
奇蹟的に無事

石城郡小名濱町の昨十三日は別項の如く小野晉平氏長女靜世孃の葬儀の爲め非常の混雜を呈し常磐線泉驛へは小名濱軌道は往復共雜沓を呈してゐるが午後四時廿八分泉驛發下り列車に連絡する小名濱町三時五十分發ガソリン機關車が同町西町入口を去る一丁餘ノ曲線に差掛るや機關車諸共脱線顛覆し滿載の乘客はわめき立ち吾を忘れて外に逃がれ出でんとする等の椿事突發し幸ひ一名の右足骨折者を出したるも大体に無事を得特發せる自動車によつて漸く泉驛に馳けつけたが同車には白井磐銀專務、山崎縣會議員、安島元代議士、井上前縣議、金成植電社長郡司二郎、里見縣學務官草野前縣議、松本德一、山崎清三、伊藤阪野村長其他知名の人々が多數乘みゐた事とて非常に憂慮されたが前記一名の負傷者を出したのみで事無かつたのは全く奇蹟的であつた

肥料の購入を前に
農村一樣の苦心
米安の影響を受けて
石城地方の昨今

石城郡地方各農村では一般財界の依然たる不活潑と米[illegible]肥料の購入期接近せるにも拘らずその準備にも取りかゝれず傍觀の體であるがさりとて米の市價不振の際は殊更ら**增收も圖らねばなら**ず彼此相容れざる事情に益々氣迷ひの外なく例年相當活氣を呈せねばならぬ同地方の肥料商況も一向捗ばかしい商談も見られず閑散を極めてゐるが平地方肥料商の觀測としては大体米安といふ資金難に苦るしめられて農村の肥料購入準備は例年に比し實に不活潑であるが作物增收上から見て肥料の缺くべからざる事は農村として既に認めてゐる筈で近年その使用量を著しく增し來れる傾向に鑑がみ多少の無理を冒しても必需期に入れば**當然旺盛**なる購買力を喚起すべく需要本期節に入て始めて活氣を呈するに至るであらうと

馬匹の去勢
植田町で約百頭

石城郡に於ける馬匹の去勢施行は平町にて十二三の兩日にて卅四頭を行ひ今十四日より三日間植田町にて執行の筈であるが植田町において行ふ分は約百頭に達する見込であると

サポリン好評

平町五丁目山野邊藥局發賣に係る「サポリン」は記憶力增進體力の强壯劑として效能顯著の靈藥であり入學試驗等に身心を疲勞せる學生間に非常に歡迎されてゐると

內郷の飲食店に
今曉覆面の賊
酌婦氣轉を利かし
實は飲勘定稼ぎ

內郷村大字宮字町田飲食店根本ナカ方に今十四日午前四時半頃裏木戸を押破つて座敷に忍入り簞笥に手を掛けんとしてゐる覆面の怪漢ある事を隣室に就寢中の酌婦古河フジ（二〇）が物音に眼を醒し氣轉を利かしてフジは件の**怪漢に覺られぬ**樣秘かに布團を拔け出し附近の駐在所に斯くと訴へ出たので時を移さず佐藤、遠藤の兩巡査が現場に急行したがそれと知つた怪漢は逃げ場を失ひ窮餘の一策に拔け出たフジの布團に潜り込み狸寢入を極め込んでゐたので難なく逮捕本署に引致目下嚴重な取調を續けてゐるが此奴は當時內郷村大字高坂居住高坂坑々夫下小川村大字下小川字愛川生れ鈴木隆吉（二九）で前夜友人の同坑夫和田義松外一名と**共に隣家**の飲食店大橋ハツヨ方で遊興したが六圓九十錢の會計支拂に窮し二人の者を人質に殘しおいし金をこしらへて來るからと前記の始末に及んだものであると

當年とつて十九才の
昭和鼠小僧
倉庫の合鍵も用意し
平署近來の捕物

平署の猪狩刑事は昨十三日早朝から茨城縣多賀郡方面に出動し午前十時頃同郡磯原町大倉炭礦內海飯場から二十才前後の青年坑夫一名引致し來たり青田部長主任となつて嚴重取調を開始したが此奴は當時住所不定無職秋田縣南秋田郡川尻村字總社前生れ伊藤佐吉（一九假名）と稱し去る七日夜內郷村大字高坂の**磐城炭礦**社員浴場の脱衣場から入浴中の湊慶三郎外十七名の洋服オーバー、時計、蟇口等三十六點代約三百圓分を竊取したのを手始めに同炭坑の木工場から大工道具數點約八十圓分を竊取更らに九日夜湯本町入[illegible]山炭礦浴場脱衣場から[illegible]オーバー、[illegible]代約三百圓分を十日夜は內郷村大字綴內郷裁縫女學校から衣類裁縫道具等約百四十圓分を竊取其の他湯本町**入山小學**校、內郷村高坂小學校同村第二小學校等を始め內郷村を中心に三十數回荒し廻つてゐたもので贓品は全部內郷村の某所に隱匿し置いた旨自白したので猪狩刑事は直ちに出動し贓品を押收引上げたが衣數[illegible]輛、マント[illegible]萬年筆、靴等白數十點の多きに達し刑事室は山を築かれてゐる

尚此奴は懷中深く藏簞笥等の凡ゆる合鍵五十數個を所持し犯行巧妙を極め天才的な手腕を持つてゐるので係官も其の大膽さに舌をまいてゐるが何者か共犯はないかと目星を付け嚴重な取調を續けてゐるが平署近來の捕者である

鍛治町の日の出湯で
母が小供を煮る
戒むべき親の不注意
危く一命を救ふ

平町材木町官吏某の妻アキ（假名二七）は昨十三日午後二時半頃長男芳雄（假名七歲）を伴ひ同町鍛治町日之出湯に入浴し芳雄を湯漕の淵に摑まらせ自分は洗場に於て入念に磨きの最中芳雄は湯漕の淵より手を離した爲め湯漕に墜ち苦悶の末漕底に沈むでゐるのを他の入浴客が足にさわつて發見大騒ぎとなり醫師を招き應急手當を加へたが芳雄は湯を多量に飲んだので漕底にあつて熱湯の爲め水腫れとなり可成の重態であるが母親の不注意から小兒を釜煮にするなぞは特に戒むべき事であらう

靜世孃葬儀
きのう近來の盛儀

小名濱町前議會議員小野晉平氏長女靜世孃の葬儀は既報の如く昨十三日執行されたが同家別邸廣間に安置された柩は各方面より贈られた造花弔旗等に埋まり午後三時同邸より菩提寺日性院に至る沿道は會葬の人々で埋まり同地近來の盛儀であつた會葬者は遠く福島、東京、茨城方面より地方知名の士一般約二千二百餘名に達した

醉餘
巡査は香具師と
共謀して金儲け
心にもなき惡口を叩き
宇之吉一夜檢束

平署の受付口に昨十三日午後三時頃飛込んで來た百姓體の男が特館內勤巡査に「三町目の角で香具師に誤魔化され金を卷上げられた果心にらないから取返へして呉れろ」と訴へたので事情を聽取しやうとすると「ウルヽヽしてゐは逃げちまう巡査は香具師と組んで金儲けをしてゐるから香具師を調らべる事が出來ないのだらう」と大聲を揚て吐鳴り散らし係官を手古摺らし果ては馬鹿野郎を連發し同巡査に武者振り付き亂暴を働らくので流石に溫厚な係官も遂いに檢束昨晩一夜を留置の上今朝放還したが此の大亂暴者は夏井村大字大越字堀川生れ當時下小川村字廣畑居住渡邊宇之吉（三八）は泥醉の結果心にもない惡口を吐き亂暴恐縮して引下つた

岩田と川田

松竹キネマ蒲田撮影所のスター岩田祐吉、川田芳子外二十六名の一行は十二日午後一時半着で湯本町に來り松柏館に投宿し入山炭礦第四坑を背景に映畫「礦山王」を撮映中であつたが大成功裡に終り今十四日午後一時半發で歸京した

[illegible]家より
直接愛酒家へ
空瓶は銘酒瓶詰と
交換いたします
平町　永山酒造店小賣部
電二〇七番

第廿二回産婆看護婦生徒募集
一募集人員　若干名
一修業年限　兩科通ジテ一ケ年
一申込期間　本年四月八日迄
平町南町（電話三〇七番）
平産婆看護婦學校
校長　清野キヨ

營業種目
內地材
材木各種、羽柄材各種
建築諸材請負
礦山用坑木其他諸材請負
外材部
米松、米杉、大角製材調達
請負其他
佐藤材木店
常磐線平町　新川町
電話　三三五番

片濱自動車運轉
平、高久、豊間、江名
停留所
平町二丁目小川屋、四丁目泉屋
新川町松崎硝子店、月見町白土屋
月見町一二三屋、江名山口屋
電話…二一七番
電話…一四二番（御三人以上はお迎ひに參上致します）
平町四丁目和泉屋旅館前
鈴木　片濱自動車商會

內科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平局五〇七番